



経営支援REPORT

有限会社 島田人形店

本物志向の人形専門店が
手掛けるかき氷
けずりひ島田 少納言G

かき氷で熊谷の夏を涼しく

雛人形や五月人形など、職人の力作が並ぶ本物志向の人形専門店「人形の島田」。三代目店主の島田健太郎さんは、2012年に事業を継ぎ、選りすぐりの品を展示販売、年間通して大切な日本の「節句文化」を伝えて来ました。少子化、核家族化が進む中、以前から「専門店の敷居の高さ、入りにくいイメージを変え、もっと気軽に来てもらえるようにしたいと考えていた」と言います。「繁忙期以外なら何かできるのでは」と、当会議所の経営指導員と相談を重ねながら経営革新計画を立て、小規模事業者持続化補助金を申請。2020年6



テーブル席14席、カウンター席2席、個室もご用意可能です。

月に、かき氷店「けずりひ島田 少納言G」をオープンさせ、この夏、5年目を迎えました。

「けずりひ」とは、かき氷のこと。平安時代の女流歌人・清少納言の「枕草子」に出てくる「あてなるもの（上品なもの）」の「削り氷（けずりひ）」にあまづら入れて、新しき金枕に入れたる」に由来しています。店内には、木目の上品な御簾や落ち着いた色合いのインテリア、枕草子の一節を描いた屏風などを配置して、みやびな雰囲気演出。かき氷は、見た目も美しい「醉芙蓉すいふうよう」や「いちごミルク」「抹茶ミルク」のほか、「氷菓の枯山水」「余白の美」など、他店にはないメニュー展開で、週末・夏休みを中心に連日満席の人気ぶり。来店客数は年20%増と、確実にファンを増やしています。

子どもは宝、笑顔にしたい

期間限定で店内を夏仕様に模様替える「人形の島田」は、「かき氷」の他にも、2022年にクワガタ販売、2023年に花火販売をスタートさせました。クワガタは信頼できるブリーダーから譲り受け、花火は発色や発光時間の長さ、持ち手の丈夫さ、安全性などにこだわって国内外から取り寄せています。「駄菓子屋さんのように選ぶ楽しさを味わってもらいたい」と島田さん。純国産の線香花火から、ネーミングの面白さが人気という仕掛け花火まで、1

本からバラで販売しているのも魅力です。異業種でチャレンジを続ける同店の取り組みには、「子ども」のキーワードがあります。いずれも子どもの興味や関心を引き、子どもに楽しんでもらいたい、喜んでもらいたいという、思いが詰まったものばかり。島田さんは「子どもの幸せが一番。人形と同じなんです」と笑顔で語ります。

有限会社 島田人形店

代表者名 島田健太郎
事業内容 節句人形販売、かき氷販売、クワガタ販売、花火販売
所在地 熊谷市久保島698-1
営業時間 11月～5月上旬 10:00～18:00(水曜定休)
5月上旬～10月 10:00～17:00(不定休)
夏季は「けずりひ島田」として営業しております。
TEL 048-532-7779
URL <https://www.shimada-dolls.co.jp/>



店主 島田 健太郎さん

支援のかたち

経営革新計画
小規模事業者持続化補助金

